

# 北方地域ユネスコエコパーク拠点施設整備・誘客促進事業

## 準拠点施設（旧下鹿川小学校）改修の概要

### 1. 事業の目的

令和2年度に策定した「北方地域ユネスコエコパーク拠点施設整備基本構想」に基づき、「北方地域ユネスコエコパーク準拠点施設整備計画」を策定し、「旧下鹿川小学校」を準拠点施設として位置づけ、比叡山を中心とする登山、ロッククライミング、ハイキング、キャンプ、溪流釣り等といったアウトドアスポーツなどを体験する拠点としての機能を併せ持つ宿泊型滞在施設となる改修工事を行うこととしています。

「旧下鹿川小学校」整備後は、登山、ロッククライミング等のベースキャンプ地としての機能のほか、自然体験学習プログラム、アウトドア体験プログラムなどの提供拠点施設機能などを備え、登山者等やファミリー層の利用に加え、小規模学校をターゲットとした学習旅行に対応できるようになるなど、地域住民の利用はもとより、県内外からの観光客や学習旅行も含め、誰もがいつでも気軽に利用できる本市の宿泊型滞在施設として地域活性化が図られることとなります。

### 2. 建築物概要

(1) 工事種別：改築

(2) 構造・規模：旧校舎棟	鉄筋コンクリート造	延 763 m <sup>2</sup>
体育館	木造	延 543 m <sup>2</sup>
屋根付運動場	鉄骨造	延 325 m <sup>2</sup>
旧校長住宅	木造	延 70 m <sup>2</sup>
旧職員住宅	木造	延 123 m <sup>2</sup>

### 3. 施設整備概要

施設整備内容に関して、4つのパターンを比較検討した結果、「パターン4」が良いと考えております（整備計画 P33 及び P41、概要版 P9 及び P10 をご参照下さい）。

#### ① 宿泊機能（建物空間使用方法）

- 宿泊室・・・旧校舎棟、旧職員住宅、旧校長住宅に、短期滞在に加え、長期滞在（お試し居住）の利用を想定した、宿泊室（宿泊定員 60 名）に改築

#### ② レクリエーション機能

- レクリエーション室・・・旧校舎棟 3F に談話、レクリエーション室を配置・改築

#### ③ 食事の提供機能

- 食堂・・・旧校舎棟 3F に食堂（談話・レクリエーション室を兼ねる）を配置・改築
- 厨房・・・旧校舎棟 3F に厨房及び配膳室を配置・改築
- 自炊キッチン・・・旧校舎棟 1F に自炊キッチンを配置・改築

④ 物販機能

- 売店・旧校舎棟 1F に売店（特産品・土産品等）を配置・改築

⑤ 温浴（シャワー）機能

- 温浴施設・旧校舎棟 1F にシャワー室、浴室・洗面室を増築

⑥ 情報提供機能

- 情報提供室・旧校舎棟 1F に情報提供（学習）室を配置・改築

⑦ カフェ機能

- カフェ・旧校舎棟 1F にカフェスペースを配置・改築

⑧ 体育館の整備・充実

- 体育館・ボルダリング設備の充実、トレーニング器具の設置、更衣室・シャワー室の増設

4. 予算

(1) 施設整備費

約 155,000 千円を予定（概算施設改修工事費）していますが、この金額はあくまでも試算によるもので、実際の事業費は今後明確にしていきます。

財源としては、過疎対策事業債の活用を検討していきませんが、ガバメントクラウドファンディング、PFI などの手法もあわせてを検討する考えです。

(2) 管理運営費

管理運営費に関しては、準拠点施設整備の手法（PFI など）、拠点施設である鹿川キャンプ場との一体的な管理運営方法を含む検討も必要となってくることから、現時点では試算しておりません。

5. 改修後における管理運営方法

準拠点施設の設置目的を最も効果的、効率的かつ安定的に達成できる団体を選定するための手法に関して検討していく予定としていますが、北方地域ユネスコエコパーク拠点施設整備基本構想の目的を最大限発揮するためには、拠点施設である鹿川キャンプ場との一体的な管理運営方法の検討も必要と考えています。

このことから、単に準拠点施設の管理運営方法の検討を行うのではなく、あらゆる視点での管理運営方法を検討していきます。

6. 北方地域ユネスコエコパーク準拠点施設整備計画 (資料 1)

北方地域ユネスコエコパーク準拠点施設整備計画〈概要版〉 (資料 2)